

# 情報処理試験シラバス改訂に伴う 対策講座対策

---

平野正喜 HIRANO, Masaki

ランドッグ・オーグ平野正喜事務所

mau@rundog.org

2012/07 @ SEA SIGEDU

教育事例研究会【発表後改訂版】

# 自己紹介

- フリーの講師&作家、元SE/PM。日本で唯一(?)のソフトウェア技術者協会(SEA)正会員兼日本劇作家協会正会員。教育分科会(SIGEDU)世話人。
- 講師としての仕事：各大学の資格取得対策講座、ゲームカレッジのプログラミング&ネットワーク講座、社会人の業務作文、新入社員教育のIT基礎講座 他
- 作家としての仕事：書籍「Brew」「Eclipse辞典」「クアルコムの次世代プラットフォーム戦略」「応用情報技術者試験合格テキスト」「基本情報合格テキスト+問題集(共著)」「HSPA+/LTE/SAE教科書(共著)」他、Web「ITmedia」「@IT」「NGNフォーラム」「ヒューマンリソシア」「RBB Today」、創作歌舞伎脚本、他

# 情報処理試験シラバス改訂とは

- 初版ver.1は2008年10月(ITパスポート※,基本情報,応用情報) 2009年3月(レベル4)  
※ ITパスポートのみver.1.1
- 2012年5月22日に(突然?)発表された「出題範囲及びシラバスの改訂」
- 共通キャリア・スキルフレームワーク(CCSFW: 2012年3月26日公開)の知識体系(BOK: Body of Knowledge)の最新版に対応 \*
- ITの新しい技術動向やビジネス環境の変化等をよりの確に反映するのが目的 \*

## シラバス改訂の主な観点 \*

1. 多様化する脅威や情報セキュリティ対策の追加等、情報セキュリティ分野の全面見直し
2. クラウドコンピューティングの急速な普及
3. Webアプリケーション開発の拡大と関連技術の進歩
4. スマートグリッド、ソーシャルメディア等、IT社会基盤の進展
5. 経営戦略マネジメント、法務等、ストラテジ系分野の充実
6. その他、重要項目の明示、用語の整理 等

## シラバス改訂の規模 \*

- ITパスポート試験を除く試験の午前の出題範囲については、現行の知識項目例(約680項目)に対し、新しい技術関連用語等の追加(約150項目)および技術の陳腐化による削除、用語の整理等(約30項目)を行った結果、知識項目例は約800項目となった
- ITパスポート試験の出題範囲および午後の出題範囲についても、同様の観点から試験区分ごとに見直した

# シラバス改訂の実態(1)

- A) 旧版シラバス公開後に出題された「シラバス外出題項目」を反映した部分が多い
- NPV (Net Present Value: 正味現在価値)、  
FAQ (よくある質問と回答)、電力線通信 (PLC)、  
HDMI、SSD (ソリッドステートドライブ)、  
CSA (Control Self Assessment: 統制自己評価)、  
BABOK (ビジネスアナリシス知識体系ガイド) 等
- B) しかし、改訂において追加された項目も相当数ある
- JCMVP (暗号モジュール試験及び認証制度)、  
CakePHP、jQuery、ドライブバイダウンロード 等

## シラバス改訂の実態(2)

- C) 逆に新シラバスに反映されなかった「シラバス外の出題項目」もある(つまり、もう出題しない?)  
ESD破壊と寄生サイリスタ、ベクトルレジスタ、リトル/ビッグエンディアン、BIND、Postfix 等
- D) 寂しく消えた項目も多い  
フロッピーディスク装置、Eclipse、UnixWare、IDE、HP-UX、IEEE 1014(VMEバス)、IEEE 896.1 (Future Bus)、IEEE 1296(マルチバスII)、EISAバス、SB(Serial Back Plane)バス、ANSI-X3.129、DES(Data Encryption Standard)、PDA 等

# 試験対策講義への影響

- 受講者は「講座もテキストも新シラバスに準拠しているのが当然」と考えている
- 新シラバスの試験への反映に猶予期間がない  
(にも関わらず120項目も増えている)
- 新シラバスを完全反映しているテキストがない  
(現在の最新テキストでは、実態のA)、C)が含まれていることがあるが、B)、D)は反映されていない)



# 試験対策講義の対策

- 根本的対策は無い  
(新シラバスを完全反映したテキスト待ち)
- 講師が根性で、実態のA、B、C、Dを調べ上げて、講義においてフォローすることが、現在できる最高のサービス？  
(ITパスポートならなんとか可能だが、上位試験では大変)
- 逆に言えば、だからこそ講師の出番なのだが。

## IPAへお願い

次回のシラバス改訂は計画的 & オープンに

- 次回の改訂時期の明示を
  - 教育現場、開発現場からの意見聴取を
- 項目数を増やさずに、毅然とした入れ替え・項目削除を

- 例：ITパスポートにアンゾフの成長マトリクス、TOC、スタック、2分木、FTPは必要？
- 例：基本情報にRAID2/3/4、ISO13407、4つの変調（AM,FM,PM,PCM）は必要？

## \* 引用資料

- 情報処理推進機構 プレス発表 - 情報処理技術者試験の「出題範囲」および「シラバス」改訂版の公開について

<http://www.ipa.go.jp/about/press/20120522.html>